

# “大切な花”を咲かせよう

保育所等訪問支援通信NO. R6-2



あっという間に雨の時期になりました。体調管理しながら元気に過ごしていきたいですね。さて、今回のおたよりのテーマは“ソーシャルスキルトレーニング(SST)”です。発達障がいのある子ども達は、家族や友達や先生とのやり取りを通じて、**自分なりの方法で社会性を発揮する力**を身につけることが大切です。それには、大人とのやりとりがより重要となってきます。私たち支援者が一緒に学びを深め、子ども達が家庭・保育園・幼稚園という小さな社会の中で力を身につけることで、自信を持って次の大きなステージ(小学校以降の生活)に行けるようにしてあげたいですね!



## ソーシャルスキル トレーニング(SST)ってなに?

社会で人と接するための技術を高める練習。人に合わせるのではなく、一定のルールを理解し誰が相手でも一定の行動がとれるようにする。

## なぜソーシャルスキルトレーニング(SST)が大切なの?

友達や周りとの関係を築くのが苦手、集団の中にいるよりも一人でマイペースに過ごすことを好むお子さんは、周りの人を頼らず、自分なりのやり方で生活することを選びがちです。そのままでは社会で役立つソーシャルスキルがなかなか育ちません。スキルを育てるためには、親や周りの人のサポートが欠かせないのです。

### ＜その子に必要なスキルを見極めよう!＞ 『本人が困っていることは何か?』を見極める!

気になる行動が見られる時、そこには必ず原因があります。その原因こそが子どもの必要としているソーシャルスキルであり、子ども自身もそれを困難に感じています。必要なスキルは、大人が思う“〇〇ができないから〇〇を身につけて欲しい”**“年長だから〇〇ができないと困る”**ということではなく、“〇〇ができるともっと園生活が楽しくなる!安心して過ごせる!”という考えかたで見極めていきましょう。“訓練”ではないので、あえて場面を設定したり無理に練習したりせず、日常の自然の関わりの中でアプローチしていきたいですね!

### 発達の目安や平均値に 一致しにくい



目安はノルマではありません。それぞれその子なりの発達スタイルで成長していきます。その子の特性に配慮して関われば、スキルはしっかりと伸びていきます!

## インクルーシブ保育を意識した、 みんなのできる ソーシャルスキルトレーニング!

### ＜挨拶は、応用＞

“挨拶はコミュニケーションの基本”と言われることもありますが、発達障がいのある子の場合、挨拶は応用です。彼らにとってコミュニケーションの基本は人に用事をはっきり伝えること。挨拶のように特別な用のない言葉は基本的にいらぬものなのです。



言葉ではなくても、ハイタッチ・手を振る・会釈など、身振りでも挨拶ができることや、挨拶をすると、相手も気持ちが良いことを伝えていきましょう!

### ＜勝ち負けにこだわらない＞

大人の勝ち負けの価値が、子どもの価値の偏りに繋がることも…。努力や成長といった曖昧なものより、順位など具体的な事実でこだわる『一番病』になりやすいです。また、子ども自身が、こだわりを自覚していない場合があります。



大人が勝ち負けにこだわらない態度を見せることも大切です。負けたことを我慢させるよりも、楽しんだこと、協力したこと、諦めなかったこと、努力したこと等、よかったことを言葉にして伝えましょう。クラスで褒め合ったり喜び合ったりすることもできますね!

### ＜人に相談する・頼る＞

困っていることがあれば誰かを頼り相談できるようにします。困り事が減ると社会参加する力の基礎になります。また、行き渋り・不登校などの二次的な問題の予防にもなります。

### ＜遊びながら SST!＞

スカーフ、または2本の棒を友達と2人組になって持ちポールを乗せます。相手と歩くスピードを合わせポールが落ちないように協力しないといけません。目指すところは速さではなく、ゴールすることです。積み木を友達と協力して高く積み上げることもいいですね!これも勝敗を付けずに、自分たちの“前回の記録”より高く積むことを目指しましょう。

### 幼児期のテーマは、“意欲”を守ること!

幼児期に対人関係で失敗を繰り返した子が、人と関わることを避けたり怖がったりし、思春期を迎えるころには外出することさえつらくなる子がいます。人と関わることに価値を感じ、人と関わりたいと意欲をもったまま成長していけるように、支援者(家族・園・療育等全て)で協力してサポートしましょう。

参考書籍:「ソーシャルスキルを育てる本」 本田秀夫・日戸由刈 著

児童発達支援センター つつじが崎学園  
地域支援事業部 保育所等訪問支援  
〒400-0013

山梨県甲府市岩窪町6 1 4 番地

Tel 055-251-7678

Fax 055-251-7679

Mail ooshiba@tutuji.or.jp

担当: 吉岡かよ 大柴知子 岩下詩歩

## ～お知らせ～

つつじが崎学園主催の研修会を11月に計画しています。詳細につきましては改めてお知らせいたします。毎年ご好評いただいている研修会ですが、今回も子ども達や先生方が楽しく園生活を送れる為の学びにしたいと思っています。沢山のご参加をお待ちしております。